

地域貢献への取り組み

社会貢献活動

琉球銀行は、社会貢献活動も地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全活動への助成など、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域福祉への支援活動

平成19年11月、りゅうぎんユイマール助成会※は県内の小規模作業所への支援事業として「りゅうぎんプレゼンツ 第23回ナイスハートバザール」を開催したほか、平成20年5月には、地域の児童の安全確保を目的として、北谷町PTA連合会作成の北谷町全域の「安全マップ」の作成費用を助成しました。また、琉球銀行は公益信託契約代理店として、社会福祉活動にかかわる法人および団体を助成する「宇流麻(うるま)福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営にたずさわっています。

CSR(企業の社会的責任)活動

県内の小学生に対する金融・経済教育の一環として、毎年、夏休み期間中に「りゅうぎん子どもお金教室」を開催しています。

芸術文化支援活動

平成10年より、地域への社会貢献と県内の若手芸術家育成を目的に開催している「りゅうぎんふれあいコンサート」を開催しています。平成19年12月には、第9回のコンサートとして「残波大獅子太鼓」を沖縄コンベンションセンターで開催し、1,500枚の招待券を県内の小規模作業所などへ贈呈しました。

そのほか、芸術・文化活動の支援として、沖縄県内の若手工芸家の育成と伝統工芸である紅型(びんがた)を広く紹介することを目的に、りゅうぎん紅型(びんがた)デザイン公募展を毎年開催してきました。応募作品は展示会で発表するとともに、入賞作品は琉球銀行のカレンダーの絵柄として採用されるほか、ティッシュやメモ帳など頒布品の絵柄にも採用されています。



ミャンマーサイクロン被災者へ支援金助成



北谷町全域の安全マップ



宇流麻福祉基金助成金授与式

※りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、平成5年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役員に募金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役員から200万円の募金が集まった場合、銀行も200万円を抛出し、合計400万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、268件、1億1,559万円となりました。(平成20年5月31日現在)